

東建パブリニュース

平成30年12月7日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年12月4日住宅新報 P.12

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

3Dシミュレーター刷新

GPUサーバー、AI活用

ナスラック

プランニングツールとして提供する。

リニューアルでは「画像のつくり方を抜本的に変えた。クラウドに置いてあるGPU（画像処理半導体）サーバーで3Dの計算をし、画像を送る」（東建コーポレーション設計計算部技術開発課の徳丸守次席課長）仕組みを採用した。住宅設備業界でGPUサーバーを活用したシミュレーターを開発・運用するの

東建コーポ

レーション

（名古屋市中

区、左右田稔

社長）のグ

ループ会社で

あるナスラッ

クは、製品を

3D（3次元）

画像で表示す

るシミュレー

ター「マイ

ルームプラン

ナー」を刷

新。12月中旬

から、新たに



「マイルームプランナー」メインメニュー

は珍しいという。更に画像を切り替える際のノイズもAIで処理する。

こうした仕組みを生かし、タブレットでも鮮明な3D画像に対応が容易になった。タブレット機能が追加された同プランナーは約700社の特約店などで使用され、営業支援ツールとして営業提案・成約など業務の効率化・短縮化、受注の拡大を見込む。一般消費者も同社ウェブサイトから使用が可能だ。

サービス開始第1弾となるキッチンでは、主力4商品（「セスパ」「バゼロ」「ベルフラワー」「リワイエール」）で形状、カラー、設備といった

仕様を選択。3Dシミュレーターで作成プランを360度で調整・確認でき、ワークトップ、ハンドルなどカラーの変更にも対応する。

更に、プレゼンシート作成機能を搭載した。作成されたシートがメールで顧客に送信される仕組みだ。特約店などにはCAD図面、見積もり書も送信される。

運用はキッチンを皮切りに、来年2月にキッチン収納、来春に洗面化粧台、耐震壁面収納、玄関収納、来夏に室内建具と、順次開始する計画。最終的には部屋が総合的にコーディネートできる水準を目指す。

以上